

令和8年度全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査実施日 令和8年4月23日(木)

(2) 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 調査の対象

小学校第6学年及び中学校第3学年

(4) 調査の内容

ア 教科に関する調査

小学校(国語・算数)

中学校(国語・数学・英語) ※英語は、MEXCBTを用いたオンライン方式

イ 質問紙調査 ※MEXCBTを用いたオンライン方式

児童生徒に対する調査

学校に対する調査

(5) 調査の方式

悉皆調査(全員を対象とした調査)

(6) 本市の参加状況

ア 小学校6校 234人

イ 中学校3校 240人

2 結果の概要

■教科に関する調査結果

小学校においては、学校差が大きく、市全体としては、国語、算数ともに全国平均を下回っています。

中学校においては、学校差が大きく、市全体としては、国語、数学ともに全国平均を下回っています。英語については、IRTスコアが全国スコアを下回っています。(IRTスコアは、各問題の難易度などから学力を推定し、500点を基準とします。)

■質問紙調査結果

児童生徒質問紙では、「学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う」、「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う」等と回答した割合は、小・中学校ともに全国平均を上回っています。

しかし、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた」、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」等と回答した割合は、小・中学校ともに全国平均を下回っています。

学校質問紙では、「近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った」と回答した割合が、小・中学校ともに全国平均を上回っています。

3 教科に関する調査の結果

学年		小学校 6 年生	
教科		国語	算数
R 8	本市	5 8 %	5 5 %
	県	5 9 %	5 5 %
	全国	6 0 . 9 %	5 6 . 4 %
R 7	本市	6 8 %	5 8 %
	県	6 6 %	5 5 %
	全国	6 6 . 8 %	5 8 . 0 %

学年		中学校 3 年生		
教科		国語	数学	英語（ I R T スコア）
R 8	本市	5 9 %	4 7 %	4 5 7 点
	県	6 2 %	5 3 %	4 7 8 点
	全国	6 3 . 9 %	5 7 . 0 %	4 9 9 点
R 7	本市	5 2 %	4 2 %	
	県	5 3 %	4 4 %	
	全国	5 4 . 3 %	4 8 . 3 %	

（※中学校英語に関しては、 I R T スコアでの表記としています。）

4 質問紙調査に関する調査の主な結果 ※（ ）は全国比

		小学校			中学校		
		本市	県	全国	本市	県	全国
児童生徒	学校に行くのは楽しいと思いますか（「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	88.0% (+2.3)	88.7%	85.7%	84.1% (-1.3)	87.5	85.4
	学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか（「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	78.8% (+9.2)	71.4%	69.6%	74.2% (+6.7)	67.3%	67.5%
	授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか（「ほぼ毎日」＋「週 3 回以上」の割合）	67.2% (-1.6)	76.1%	68.8%	93.4% (+15.2)	82.0%	78.2%
	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思いますか（「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	90.5% (+3.2)	89.0%	87.3%	87.3% (+2.1)	85.4%	85.2%
	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか（「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	55.6% (-10.8)	59.2%	66.4%	52.0% (-13.5)	53.4%	65.5%
	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか（「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	74.6% (-3.0)	74.5%	77.6%	73.4% (-5.4)	73.5%	78.8%

	国語の授業の内容はよく分かりますか（「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	83.0% (+1.5)	82.7%	81.5%	78.3% (+1.5)	73.6%	76.8%
	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか（「当てはまる」＋「どちらかといえば、当てはまる」の割合）	74.7% (-2.8)	77.4%	77.5%	63.5% (-10.7)	69.3%	74.2%
学校	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか（「よく行った」＋「どちらかといえば、行った」の割合）	100% (+13.0)	93.3%	87.0%	100% (+20.1)	82.1%	79.9%
	近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか（「よく行った」＋「どちらかといえば、行った」の割合）	83.3% (+16.3)	80.2%	67.0%	100% (+28.0)	80.3%	72.0%